

第14回白坂さん事例			
時間	CC	CL	
0:00 オープニング	こんにちは、はじめまして。 本日キャリアコンサルティングを担当します、田中と申します。	初めまして。白坂和也と申します。よろしくお願いします。	
	白坂さんですね。 そうしましたら早速なんですか、本日のご相談内容についてお伺いしてよろしいでしょうか？	はい、私中堅の食品メーカーで、3年前から人事課長をしております。 2年前に業務改革で、人事の仕事の大部分をアウトソーシングするようになり、業務が大幅に減ってしまって、何かやりがいがなくなってしまったんですね。 業務改革がこのまま進むと、人がどんどん減らされて、今後これから自分が会社に残れるかどうかわからんないんです。 最近、転職しようかどうか迷い始めたので、ここへ来ました。	来所目的
1:20 来所理由確認	今のお話確認しますと、人事にアウトソーシングがあつて仕事のやりがいがなくなったということ。 また、業務改革が進む中で自分が残れるかどうかが不安でもあり、転職も考えてしまふらしゃるということでおろしいでしょうか？	はい	
	概略確認	そういったね、状況の中ご相談いただきまして、ありがとうございます。 そうしましたらね、今回のご相談について一緒にね、考えていただきたいと思うんですけども、まずね、学校出られてから、今日ね、こちらにご相談いただくまで、どういったお仕事をね、携わってこられたのか、ちょっと構いませんので教えていただいてよろしいですか。	はい、えーとですね、4年制の大学の経済学部を卒業しまして、えーっとですね、(約12秒沈黙)
		どうぞ焦らなくて大丈夫です。時間ありますから、どうぞゆっくり思い出してくださいね。	(約6秒沈黙) 現在の食品会社、入社しました。営業部に配属されまして、23年営業やってました。3年前に人事課に異動しまして、先ほどお話をしました通り、1年前に、業務改革ということで、仕事の大半がアウトソーシングされて、部下が大幅に減りまして、なんかやりがいがなくなったっていう感じですね。
		そういった、やりがいをちょっとなくすような形で、最近はお仕事をしてこられたということですね。 そうしましたら、今後も含めてなんですか、具体的にね、今白坂さんがどういうふうにお考えなのかをお伺いしていきたいんですけど、最初にね、食品メーカーを選ばれたのは、どういった理由からね、就職活動をされたかと思うんですけど、どんな理由で選ばれましたですか。	えっとですね、今から27年前といいますと、バブルがはじけた直後で、本当に不景気で、大学生の就職活動というのは、とても厳しかったんですね。 少し、三年上の先輩たちが入社した大手の会社に、コンタクトを取ってましても、ほとんどの会社で相手にされませんでした。 その中でゼミの先輩が勤める会社の取引先でしたが、今の会社を紹介してもらいまして、何とか内定をもらつて、通り込んだという感じです。
	仕事理解・状況確認	そういった経験があったんですね。 営業というのは、そうすると、白坂さん自身が希望されたわけではない。	やっぱり時代が時代ですから、会社を回すためには、やっぱり物を売るっていうことは、会社の商品を売るっていうことが大事だったと思うんで、営業に回ったんだと思います。
		営業で二十何年ですね、されたとおっしゃつたけれども、23年でしたか、何を売つていらっしゃったんですか、具体的には。	えーとですね、中堅の食品メーカーをいいましたけども、そばとか、乾麺、生麺とかの麺類を大手のスーパーでセイゼンやスーパーさんに製造販売する会社なんで、その営業をやってたんです。
		あんまりこのそばをね、麺類、乾麺含めて、結構こだわりとかねあったりするのか スーパーですから、そこまでそういうのではないのか、わからんのですが、どういつふうなところが、売り上げを上げていくに大事かんですか。	お客様ってだいたい決まってますんで、だんだん顧客知識になって。 あと、お客様の方から、こういうのがほしいっていうな話があったときに、工場の方と相談して、サンプル焼つけて、評判が良ければ採用して貰える、受注になるという話がありますね。
4:54	そういう細やかなニーズを汲み取るような営業されてこられたって感じですかね。	えーとですね、中堅どころでどちらかっていうと、小回りが利くところがあります。	
	なるほど、大手さんは融通効かない。	大手さんは融通効かないですね。ちょっと量が多すぎて困ったことがあります。 発注のとき。	
	あーあれですね、高品質少ロット。	高品質で言うか、あの大量に、たくさん。 工場の製造能力を超えることがあるから。	
	そういう感じで、小回り効きながら、ニーズを受けて、関係をお客様と作ってこられたんですね。	そうですね、だからやっぱり同じような小規模中規模の会社に協力してもらったこともありますね。	
	社外の。	あまりそういうことはしたくなかったんですけど。	
	でも、そういうこともできたわけですね。	あの時代だと、当時はそういう時代だったんですね。	
	そんな白坂さんが人事に異動したのは、何かそのとき言われました？ 人事の方から、辞令のときとか。	えーとですね、具体的な説明は、何もありませんでした。	
	うん。	規模的に数百人程度なんで、23年もいれば、だいたいの会社の中の事は、わかるでしょ。 というのがあったのと、今思えば、その後の業務改革、大抵のところは自分の部門の業務改革なんて、できないですね。 他所から人を連れてきて、やらせつづいてそういうことが会社の上層部の頭の中にあったのかなっていうふうに思っています。そんな感じですね。	
	人事に配属された当初は何をしてたんですか、お仕事としては。	採用とか。	

		採用。	
		そういう中でアウトソーシングされたってことは、今はどんなお仕事をしてらっしゃるんですか。	はい、あとは社員の業務管理、いわゆる一般的な人事の仕事ですね。まあ、労務管理は工場なので労務管理の方が多いかもかもしれません。
			今はですね、部下も10人近くいたのは2人ぐらいになります、アウトソーシング先とのやりとりが半です。
10:01	中間継め (支持含む)	今ね、ちょっとお話をあったことを、一旦確認すると、白坂さんは23年営業としてられて、社外の方とも取引できるぐらいの、いろんなネットワークを持った方で、おそらくですが私のイメージだとね、営業先さんの信頼の厚い方で、そういうところもあるのか、人事の方に行つたんだけれども、人事がアウトソーシングされて今はアウトソーシング先とのやりとりとか、イレギュラーなことで、ちょっとやりがいがなくなったということですね。	うん、そうですね。
		そして今後のことも含めると、転職も考えたり。	はい。
10:31	気持ちの確認	アウトソーシングされたとき、仕事なくなってどんな気持ちでした。	うーん、なんか、寂しさですかね。
		寂しい。その寂しい気持ちの中での、今までね、お仕事を続けてこられたのはどうですか。	うーん、今外に出されたその仕事をちゃんとフォローできるのは私しか、今いないんです。最初の社員のために、そこそこあの、頑張ってスタートしたばかりですからね、やっていかないと、つで気持ちがどっちにありますね。
	支持	そういう責任感もあるし、今白坂さんしかその仕事をできる方がいないっていうことですね。そういう責任感の中でお仕事をしてこられた。	うーん、誰にも相談していません。
	支援確認	ただ、今後の業務改革への不安というのは、どなたかにご相談されたりしましたか。	えーと、家族、妻と長男長女がいます。二人ともまだ学生です。
		うん。何か相談できる相手がいない、それとも、できない理由が?	妻は職場結婚でしたんで、昔の残ってるかつての女性の同僚から多少なりとも話は入ってる感じですが、そのことで家の中で話をしたことはありません。
		なるほど、ありがとうございます。今後も不安ということをおっしゃっておられましたが、転職するとして、ご家族、ご結婚とか失礼ですがしてらっしゃる感じですか。	えーと、家族、妻と長男長女がいます。二人ともまだ学生です。
		ね、今はその白坂さんがやりがいがない中で頑張ってこられて、しかし今後の業務改革もあるかもしれない、ということは、特に配偶者の方はご存知ですか。	妻は職場結婚でしたんで、昔の残ってるかつての女性の同僚から多少なりとも話は入ってる感じですが、そのことで家の中で話をしたことはありません。
		なるほど、どんな反応でしたか。	あ、家の中では仕事の話はしないので。
13:17	気づき & 支持 & 対決	そうなんですね。わかりました。ありがとうございます。 うん。今お話を伺いしてると、白坂さん非常に私しかできないという重要な仕事を今任されてるという感じで、私は印象を感じたんですけども。 今ね、この先、業務改革があったとして、転職するとしても残るにしても、これから白坂さんに必要なスキルって何ですかね。	参りましたことはありません。
	目標提案	うん。それを一緒に考えましょうか。	あ、ありがとうございます。
		うん。まだ業務改革が今後進んで、やめでくださいって言われる、かもしれない。っていうことは、言われないかもしれない。	どちらもあると思います。
14:20	方策 (仕事を詳しく確認する) 設定	どちらにしてもね。今の仕事でも必要だし、転職するとしても必要な、何か汎用性が高くて、今の仕事でも生かせるようなね、スキル。 ちょっとねそれがね、国家資格とかで何かあるのか、それともそういうのじゃなくて、身につけていく感じのスキルなのか、もう少しね、今日、まだこの後時間ありますからねもっと詳しくね、この後、お仕事のことをお伺いしていいですか。	はい。
14:55		ありがとうございます。	